

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2022年 1 月 15 日
夢門塾ゆうゆう今津	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3		1	<ul style="list-style-type: none"> もう少し活動スペースが広い方が良い。 静養室があるため、適切である。 状況に応じて、机や椅子を移動しスペースを確保している。
	②	職員の配置は適切である	2		2	<ul style="list-style-type: none"> パートの職員がもう少しいると良い。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4			<ul style="list-style-type: none"> 毎日、施設内・備品などのアルコール消毒を行っている。 送迎時には、必ずご利用者様の手指・衣服の消毒を行っている。また、送迎車の除菌・清掃も行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> 月1回カンファレンス会議を行い、毎日朝・夕のミーティングで共通認識を得ている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 評価表を活用し、業務改善につなげている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ホームページに公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 法人内のオンライン研修があり、参加している。 今後は、外部研修への参加も行っていきたい。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 保護者様のニーズに応えるため、カンファレンスを行い個別支援計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			<ul style="list-style-type: none"> 日々のミーティングや月に1度の会議で、全員の意見を出し合い計画している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	3		1	<ul style="list-style-type: none"> インターネットや専門書などで、情報を得て新しいものを取り入れている。 活動が、固定化しないように工夫したい。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			<ul style="list-style-type: none"> 季節に応じた行事を行っている。 日々、活動目標を決め、ご利用者様や保護者様に伝え支援をおこなっている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性に応じて、参加しやすいように活動内容を工夫している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			<ul style="list-style-type: none"> 役割分担表を作成し、当日のミーティングで打ち合わせしている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 提供記録は、個々の目標に応じて記入している。 全体の把握が十分でないこともあるため、もう少し個々の様子を把握していく。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			<ul style="list-style-type: none"> 半年に1度、モニタリングを行っている。 ケース会議などを行った際には、再度計画の見直しを行っている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4			<ul style="list-style-type: none"> 十分ではないが、行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	3	1		・下校時間の変更やトラブル発生時など、連絡を取り合っている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	1	2	1	・就学前の保育所などの情報共有は出来ていない。 ・相談支援事業所からの情報が主になっている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		4		・今までそのようなご利用者様はいないが、今後は行っていきたい。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	1	・放課後等デイサービス連絡協議会に在籍している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	2	2		・連絡帳や送迎時の報告などにて共通理解が行えるように努めている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	2	2		・契約時、書面等により説明を行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3		1	・悩みがあった場合は、送迎時や電話等で助言を行っている。 ・まだ、保護者様と信頼関係が築けていないため、今後はコミュニケーションを十分とっていく。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		2	2	・コロナの影響で開催は出来なかった。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1		・迅速に対応している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			・毎月のお便りで、情報提供を行っている。
	㉗	個人情報に十分注意している	4			・十分注意している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・連絡帳などに、写真を入れ分かりやすいように工夫している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	1	1	・可能な限り参加している。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	3	1		・緊急時対応のフローチャートを作成し、職員全員が周知している。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			・年2回行っている。 ・今後は、全ご利用者様が参加出来るように配慮していきたい。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		・研修に参加している。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	2	2		・契約時に説明しているが、その状況は発生していない。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	2	1	1	・服用のあるご利用者様がない。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	2	1	1	・あまり活用できていないため、今後は職員全員で共有していきたい。 ・小さなことでも記入するよう心がける。